

1 学生関係主要事務窓口について

休学等の身分異動、各種証明書の発行、授業科目の履修、就職相談・情報、奨学金、授業料免除、課外活動等におけるほとんどの手続きは、研究科に対応する支援室で取り扱っています。(研究科対応支援室は、p.5を参照してください。)

なお、事務の種類により対応窓口等が異なりますので、下記一覧を参照して所定の窓口において手続きを行ってください。

履修関係	履修申請 成績確認	TWINS、支援室
単位認定	単位認定(他大学等で修得した科目)	支援室
修了	論文審査願	支援室
身分異動	休学願	支援室
	復学願、復学届	
	退学願	
	留学願	
	転研究科・転専攻願	
身上異動	住所届	支援室
	改氏名・戸籍変更届	
	緊急連絡先等変更届	
諸証明書	旅客運賃割引証(学割)	証明書自動発行機(TWINS)、支援室 (証明書自動発行機は、ｽﾌｰﾃﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾗﾞﾞ 2階にも設置されています。また、提出先指定様式の健康診断書は、保健管理センターで発行します。)
	在学証明書	
	成績証明書	
	修了見込証明書	
	健康診断書	支援室
	学生証	
	通学証明書	
	教育職員免許状取得見込証明書 調査書、推薦書、人物調査書	
授業料	授業料免除申請	支援室
	授業料徴収猶予・月割分納願	支援室
	授業料納付	財務管理課出納係【本部棟・3階】
奨学金	筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」	学生生活課(経済支援)【ｽﾌｰﾃﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾗﾞﾞ 3階】 又は留学生交流課【大学会館2階】
	日本学生支援機構	支援室
	地方公共団体・民間奨学団体	
学生生活	遺失物届・拾得物届・盗難届	支援室
	事件・事故届	
	アルバイト	
	学生教育研究災害傷害保険	総合相談窓口【ｽﾌｰﾃﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾗﾞﾞ 3階】
	何でも相談	
	学生宿舎・アパート等	
課外活動	学生団体設立願	学生生活課(学生支援)【ｽﾌｰﾃﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾗﾞﾞ 3階】
	学生団体継続願	
	学生団体事業報告書	
	学生団体設立願記載事項等変更願	
	学生団体解散届	
	学外団体加入願	学生生活課(学生支援)【ｽﾌｰﾃﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾗﾞﾞ 3階】
	学生集会(催)願	
	文書等掲示・配布願	
	拡声器使用願	
体育施設使用許可願	体育センター	
就職	進路希望調査	就職課【ｽﾌｰﾃﾞﾝﾄﾞﾌﾞﾗﾞﾞ 2階】
	採用試験受験報告書(教員・公務員)	
	就職(企業・団体)内定レポート	
	進路内定届	

2 諸規則について

大学には、学則を始め、授業科目の履修、休学等の身分異動、学位、授業料免除等の修学及び学生生活に関する諸規則が規定されています。詳しくは、筑波大学のホームページ (<http://www.tsukuba.ac.jp/>) 「広報・公開」 「国立大学法人筑波大学規則集」 で公開していますので、適宜確認してください。

なお、ホームページに掲載されていない取扱いについては、対応支援室大学院教務担当で確認してください。

3 修業年限、在学年限について

修業年限とは、当該課程を修了するために必要な在学期間です。また、在学年限とは、在学することができる最大の年数です。各課程における標準修業年限及び在学年限は次のとおりです。

なお、休学期間は、修業年限及び在学年限には算入されません。

課 程	標準修業年限	在学年限
修士課程	2年	4年
博士前期課程		
専門職学位課程		
専門職学位課程(法科大学院)	3年	5年 (図書館情報メディア研究科は6年)
博士後期課程、3年制博士課程		
一貫制博士課程	5年	7年
一貫制博士課程(第3年次編入学)	3年	5年
一貫制博士課程(医学の課程)	4年	6年
修士課程・博士前期課程(短期在学コース)	1年	3年

転入学、早期修了、長期履修学生に係る修業年限、在学年限は、大学院学則の規定に基づき別途定められていますので、支援室大学院教務担当に確認してください。

長期履修制度は、当分の間、ビジネス科学研究科法曹専攻(法科大学院)のみ適用となります。

4 休学、復学、退学、留学等について

休学、復学、退学、留学等、学籍異動を要する場合は、所定の手続きを行って大学の許可を得ることが必要です。

休学等の手続は、指導教員、専攻長、研究科長等と相談のうえ、対応支援室大学院教務担当で必要な手続を行ってください。

なお、許可を得るためには関係委員会での承認を得るまでの期間が必要となりますので、**すべての申請手続きは原則として1カ月前までに行ってください。**

(1) 休 学

疾病その他特別の理由により、引き続き2カ月以上修学することができない場合には、所定の手続きにより許可を得て休学することができます。手続きについては対応支援室大学院教務担当で問合せください。

休学期間は1年以内です。特別な理由がある場合には、1年を限度として休学の延長を申請することができますが、連続して2年を超える休学はできません。(東京キャンパスの研究科・専攻についてはこの限りではありません。) 休学期間を延長する場合の申請手続きも、**原則として1カ月以上前に行ってください。**

なお、疾病により休学する場合は、休学願とともに診断書を提出することが必要です。

休学期間は、修業年限及び在学年限には算入されません。

また、休学許可日によっては、許可された休学期間の授業料が免除されます。休学が予定されている場合は、できるだけ早く対応支援室大学院教務担当にご相談ください。

【例】 ↓「休学願」は、原則として1ヵ月以上前に提出する必要があります。

休学期間	「休学願」提出時期 (期限)	休学許可日	授業料免除の対象となる月
4月1日～ 翌年3月31日	2月末日(期限)	3月末日	4月～翌年3月(12ヶ月分)
7月1日～9月30日	4月末日まで	5月末日	7月～9月(3ヶ月分)
	5月末日(期限)	6月末日	免除なし(許可日が第1期分納付期限後になる場合は、第1期分の授業料は免除されない)
10月1日～ 翌年3月31日	8月末日(期限)	9月末日	10月～翌年3月(6ヶ月分)
翌年1月1日～ 3月31日	10月末日まで	11月末日	翌年1月～3月(3ヶ月分)
	11月末日(期限)	12月末日	免除なし(許可日が第2期分納付期限後になる場合は、第2期分の授業料は免除されない)
翌年2月1日～ 9月30日	10月末日まで	11月末日	翌年2月～9月(8ヶ月分)
	12月末日(期限)	翌年1月末日	翌年4月～9月(6ヶ月分)(許可日が第2期分の納付期限後になる場合は、2・3月分(2ヵ月分)は免除されない)

【参考】休学許可日(休学が許可された日)と 授業料免除の関係

休学許可日 (※「休学願」提出から許可までは1ヵ月以上要します)	授業料免除(月割)の対象となる期間
第1期分納付期限以前(5月末日まで)	第1期・第2期・翌年度の休学に係る期間
納付期限以降(6月以降)	第2期・翌年度の休学に係る期間のみ
第2期分納付期限以前(11月末日まで)	第2期・翌年度の休学に係る期間
納付期限以降(12月以降)	翌年度の休学に係る期間のみ

授業料納付期限：第1期分(4月～9月分)は5月末日、第2期(10月～3月分)は11月末日

【休学期間】在籍中に休学できる期間は、次の表のとおりです。

課 程	休学できる期間(通算)
修士課程	2年
博士前期課程	
専門職学位課程	
法科大学院	3年
博士後期課程、3年制博士課程	
一貫制博士課程(3年次編入学含む)	
一貫制博士課程(医学の課程含む)	
修士課程(短期在学コース)	2年
博士前期課程(短期在学コース)	

(2) 復学

休学の許可を受けた学生が、休学期間の満了にともない復学する場合には、「復学届」を提出する必要があります。

また、休学期間中に、休学の理由が消滅し、休学の途中で復学しようとする場合にあっては、1ヵ月以上前までに「復学願」を提出し、許可を得て復学することができます。

いずれの場合においても、所定の様式により所定の手続きが必要となりますので、対応支援室大学院教務担当において手続きを行ってください。

授業料については、復学を確認後、払込取扱票を送付しますので、金融機関でお振り込みください。

(3) 退学

就職、経済的事情その他の理由で学業の継続が困難となり、退学しなければならない場合には、所定の手続きにより許可を得て、退学することができます。ただし、退学によって授業料は免除されません。退学日の属する期の授業料をお支払いいただくこととなります。退学を予定されている場合等においては、できるだけ早く対応支援室大学院教務担当にご相談下さい。

【参考】在籍時期と授業料の関係例

(各人の事情によって異なる場合があります。詳しくは各支援室大学院教務担当の窓口にご相談ください)

在籍時期(期間)	授業料
4月～9月のうち1日以上	第1期分
10月～翌年3月のうち1日以上	第2期分

退学の場合の授業料免除の規程はありません。

(例えば、4月30日付退学を申請する場合は、第1期分の授業料は全て(6ヵ月分)納付しなければなりません。)

授業料納付 第1期：4月～9月，第2期：10月～3月

(4) 留学等

他の大学院の授業科目を履修する場合や、他の大学院又は試験研究機関において研究指導を受ける場合には、所定の手続きが必要となります。

他の大学院の授業科目を履修する場合

ア 国内の他の大学院の授業科目を履修する場合

特別聴講学生としての手続きが必要となりますので、履修を希望する大学院の所定の手続きを確認するとともに、対応支援室大学院教務担当で手続きを行ってください。(本学の学長から当該他大学院の学長あてに受け入れ依頼を行い、先方からの受け入れ許可をもって他大学院の授業科目履修の許可となります。)

この場合、派遣期間(他大学院の特別聴講学生として学修した期間)は、修業年限及び在学年限に算入されます。

また、修得した単位は、所定の手続きにより、10単位を限度として、修了に必要な単位として認定することがあります。(国内の他大学院の特別聴講学生として修得した単位の認定は、外国の大学院で「留学」により修得した単位等と合わせて10単位が限度です。)修得した単位を修了に必要な単位として申請する場合は、派遣期間終了後すみやかに対応支援室大学院教務担当において所定の手続きを行ってください。

イ 外国の大学院の授業科目を履修する場合

a 「留学」の身分で外国の大学へ留学する場合

「留学」の身分で留学しようとする場合は、「留学願」を提出し許可を得る必要があります。留学願を提出するにあたっては、留学しようとする大学院の受け入れ許可書(和訳添付)を併せて提出してください。

この場合、留学期間は、修業年限及び在学年限に算入され、修得した単位は、所定の手続きにより修了に必要な単位として申請することができます。

留学を許可できる期間は1年以内ですが、特別な事情がある場合には、更に1年を上限として留学期間の延長を願い出ることができます。なお、留学期間は、通算して2年を超えることはできません。

留学が終了した場合は、帰国後すみやかに、所定の「履修報告書」及び留学先の大学の責任者(学長等)が発行する成績証明書を対応支援室大学院教務担当に提出してください。

修得した単位を修了に必要な単位として申請する場合は、同じく帰国後すみやかに対応支援室大学院教務担当において所定の手続きを行ってください。(外国の大学院で「留学」により修得した単位の認定は、国内の他大学院の特別聴講学生として修得した単位等と合わせて10単位が限度です。)

なお、留学期間中の本学の授業料は納入する必要があります。

b 「休学」の身分で外国の大学へ留学する場合(以下「休学留学」という。)

休学留学の期間は、修業年限及び在学年限には算入されず、修得した単位は本学では認定されません。

休学留学は、「休学」の手続きを行い、許可を得る必要があります。

なお、休学留学中の本学の授業料は、休学の許可日によっては免除される場合もありますので、予定がある方はできるだけ早めに対応支援室大学院教務担当にご相談ください。

他の大学院又は試験研究機関において研究指導を受ける場合

国内外を問わず、他の大学院又は試験研究機関において研究指導を受けようとする場合には、所定の手続きにより「特別研究派遣学生」として研究指導を受けることができます。ただし、研究科において特別研究派遣の申請を認める年次に制限を設けている場合があるので、対応支援室大学院教務担当にて確認してください。

特別研究派遣として許可できる期間は1年以内ですが、特別な事情がある場合には、更に1年を上限として特別研究派遣の延長を願い出すことができます。なお、特別研究派遣学生の期間は、通算して2年を超えることはできません。なお、修士課程及び博士前期課程の学生にあっては、通算して1年を超えることはできません。

特別研究派遣の期間が終了したときは、終了後1カ月以内に「特別研究派遣研究報告書」及び派遣先の責任者（学長等）が発行する「研究指導報告書」を対応支援室大学院教務担当に提出してください。提出された書類に基づき、研究科において「研究指導の認定」が行われます。

特別研究派遣学生として許可された期間は、修業年限及び在学年限に算入され、当該期間の本学の授業料を納入する必要があります。

国際大学間交流協定校締結校への留学をする場合

本学では、海外の大学と多くの交流協定を締結しています。協定の内容は、全学的なものから、部局単位（学群、学類、研究科ごと）なものまで様々です。

協定校とは授業料不徴収を締結している場合が多く、定められた人数の範囲内で、相手大学での授業料は不徴収となります。

大学間交流協定を締結している大学は、別表のとおりです。これら協定校へ留学する場合は、つくばスカラシップ交換留学支援奨学金、日本学生支援機構の留学生交流支援制度（短期派遣）による派遣奨学生その他民間財団等の派遣奨学生へ応募することができます。

本学における「留学」と「休学」の取扱い

留 学

ア 大学間交流協定が締結されている大学（次頁の別表）で履修する場合（大学によっては、派遣できる研究科が限られているので、本学の交流対応組織又は留学生センターに確認すること。）

イ 大学間交流協定が締結されていない高等教育機関で履修する場合

留学願、留学先の受入内諾書（受入許可書）の書類により研究科長等に願い出て、関係の会議により審議され教育上有益であると承認された場合

休 学

ア 学生が本学において大学院相当の高等教育機関と認められない外国の教育機関で履修する場合

イ 当該学生の専門分野でない分野を履修する場合

ウ 「留学」の期間が2年を超えた場合

大学(部局)間交流協定締結校一覧(学生交流)

(2010.12.1現在)

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
中国 (42校)	中国科学院研究生院 (10.7.6) ⑩	本学: 全学(生命環境科学研究科、システム情報工学研究科、 ビジネス科学研究科対応) 相手: 全学	協議により決定	生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 徳永澄憲
	浙江大学 (12.11.8) ⑧	本学: 全学 相手: 全学	コンピュータサイエンス及び 関連分野 両大学に共通する全ての領域	システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 李 頌 人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	南開大学 (12.12.25) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	西安交通大学 (13.2.20) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	吉林大学 (13.2.6) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	バイオシステム科学・工学、バ イオ環境科学・工学及び関連 分野 それ以外の両大学に共通する 全ての領域	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 佐竹隆顕 人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	北京航空航天大学 (13.2.24) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	コンピュータサイエンス及び 関連分野 それ以外の両大学に共通する 全ての領域	システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 李 頌 人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	廈門大学 (13.5.20) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	中山大学 (13.5.25)	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	人文科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤貢悦
	中国科学技術大学 (14.4.5) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	数理解析科学研究科 物性・分子工学専攻 全 暁民
	東北師範大学 (14.4.9) ③	本学: 全学 相手: 全学	生命環境科学、数理解析科学、 システム情報科学、人文社会科学、 教育学、体育科学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 柿 眞
	華南師範大学 (14.5.31) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	人間総合科学研究科 体育科学専攻 佐藤臣彦
	湖南大学 (11.8.21) ⑤	本学: 人文学類、社会学類、比較文化学類、 日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 外国語学院	人文科学及び社会科学分野 中国語研修	人文科学研究科 現代語・現代文化専攻 伊原 大策
	上海交通大学 (12.2.17) ①	本学: システム情報工学研究科 相手: 冷凍及び低温工学研究所	低温工学、エネルギー工学、 熱流体力学及び関連分野	システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 高田 卓
	中国海洋大学 (青島海洋大学) (09.8.15) ②	本学: バイオシステム研究科 相手: 海洋生命学院	生物学、バイオシステム科学・工学、 バイオ環境科学・工学及び関連 分野	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 杉浦則夫
	北京大学 (14.5.31)	本学: 図書館情報メディア研究科、図書館情報専門学群 (情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類) 相手: 信息管理系(情報)	図書館情報学及び関連分野	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 呑海さおり
	北京師範大学 (11.11.30) ②	本学: 人間総合科学研究科、数理解析科学研究科、 生命環境科学研究科 相手: 教育学院、数学科学学院、資源学院、生命科学学院	教育学、理学、生命環境科学 及び関連分野	生命環境科学研究科 生命共存科学専攻 松下文経
	北京大学 (09.11.26)	本学: バイオシステム研究科 相手: 環境学院	生物学、バイオシステム科学・工学 及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	復旦大学 (11.1.14) ②	本学: 生命環境科学研究科 相手: 環境科学工学系	バイオシステム科学・工学、 バイオ環境科学・工学及び関連 分野	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 杉浦則夫
	中国農業大学 (11.1.14) ②	本学: 生命環境科学研究科 相手: 研究生院	生物学、バイオシステム科学・工学、 バイオ環境科学・工学及び関連 分野	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 佐竹隆顕
	西北農林科技大学 (11.2.9) ②	本学: 生命環境科学研究科 相手: 研究生院(機械・電子工程院)	バイオシステム科学・工学、 バイオ環境科学・工学及び関連 分野	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 佐竹隆顕
	清華大学 (12.2.26) ③	本学: システム情報工学研究科、生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 相手: 建築学院	都市計画、建築計画及び関連 分野	システム情報工学研究科 社会システム・マネジメント専攻 藤川昌樹
	清華大学 (10.5.9)	本学: システム情報工学研究科、工学システム学類 相手: 原子力及び新エネルギー研究所	新エネルギー及び関連分野	システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 石川本雄
	清華大学 (13.5.9) ⑤	本学: 生命環境科学研究科、生命環境学群 相手: 環境科学と工程系	生命環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	西南交通大学 (12.3.9) ③	本学: システム情報工学研究科 相手: 計算機工程院	情報科学、通信工学及び関連 分野	システム情報工学研究科 知能機能システム専攻 末廣直樹
	中国原子能科学研究院 (12.7.31) ①	本学: 数理解析科学研究科 相手: 核物理所	加速器科学及び関連分野	数理解析科学研究科 電子・物理学専攻 喜多英治
	瀋陽農業大学 (14.2.8) ②	本学: 生命環境科学研究科(生命産業科学専攻、生物圏資源科学専攻、 国際地縁技術開発科学専攻、生物機能科学専攻、生物資源科学専攻) 相手: 全学	農学(全分野)	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 佐竹隆顕

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
中国 (42校)	吉林農業大学 (14.2.24) ②	本学:生命環境科学研究科 生命環境学群 相手:全学	生物資源科学、環境科学、生物科学、地球科学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 柿島 真
	中国科学院地理科学・資源研究所 (12.3.31) ①	本学:生命環境科学研究科 相手:全学	生命環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 地球環境科学専攻 山中 勤
	中国地質大学(北京) (10.11.22) ②	本学:生命環境科学研究科、環境科学研究科 相手:水資源・環境学院	環境科学、環境工学、生命環境科学、エネルギー資源及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	鄭州大学 (10.11.27) ②	本学:生命環境科学研究科、環境科学研究科 相手:環境科学研究院、化学系、環境・水利学院、生物工程学系	環境科学、環境工学、衛生環境医学、生命環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	河南科技大学 (10.11.28) ②	本学:生命環境科学研究科、環境科学研究科 相手:食品・生物工程学院、農学院、車輛・動力工程学院	環境科学、環境工学、農業環境、農業工学、食品工学、環境医学、生命環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	大連大学 (12.2.17) ②	本学:日本語・日本文化学類、人文社会科学研究科、地域研究研究科 相手:日本語文化学院	日本語・日本文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 沼田善子
	雲南大学 (13.3.7) ②	本学:生命環境科学研究科 相手:生命科学学院	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	南京大学 (13.4.6) ②	本学:生命環境科学研究科 相手:環境学院	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 張 振亜
	中国美術学院 (13.5.18) ①	本学:芸術専門学群、人間総合科学研究科芸術専攻 相手:造型学院(美術学部)、設計学院(デザイン学部)、大学院修士課程・博士課程	芸術諸分野	人間総合科学研究科 芸術学専攻 中村伸夫
	南京大学 (13.12.31) ②	本学:数理物質科学研究科 相手:電子科学与工程学院	物理学、材料科学及び関連分野	数理物質科学研究科 物理学専攻 守友 浩
	大連民族学院 (14.6.30) ③	本学:生命環境科学研究科、生命環境学群 相手:全学	生命環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 田村 憲司
	南京理工大学 (14.08.31) ②	本学:数理物質科学研究科 相手:化工学院	化学及び関連分野	数理物質科学研究科 化学専攻 赤阪 健
	華東師範大学 (15.3.31) ②	本学:数理物質科学研究科 相手:全学	理学、工学、及び関連分野	数理物質科学研究科 電子・物理工学専攻 秋本克洋
	黒龍江大学 (15.3.31) ①	本学:数理物質科学研究科 相手:化学化工材料学院	化学及び関連分野	数理物質科学研究科 化学専攻 赤阪 健
	澳門大学 (15.3.30) ③	本学:人文社会科学研究科、人文・文化学群、社会・国際学群 相手:全学	社会科学、人文科学及び関連分野	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤真悦
	江南大学 (15.9.27) ②	本学:生命環境科学研究科 相手:生物工程学院	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻 高谷直樹
	中国(台湾) (9校)	国立中山大学 (12.9.16) ⑤	本学:全学(留学生センター、人文社会科学研究科、システム情報工学研究科) 相手:全学	両大学に共通する全ての領域
国立清華大学 (12.11.28) ⑤		本学:全学 相手:全学	全領域	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤真悦
国立台湾大学 (12.11.15) ⑤		本学:全学 相手:全学	全領域	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤真悦
国立台湾芸術大学 (15.7.11) ②		本学:芸術専門学群、芸術研究科、人間総合科学研究科芸術学専攻 相手:美術学院、設計学院、造型芸術研究所	芸術学、美術、デザイン	人間総合科学研究科 芸術学専攻 太田 圭
国立政治大学 (11.6.29) ⑦		本学:人文社会科学研究科、地域研究研究科、人文学類、社会学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手:文学院、社会科学学院、外国語文学院、法学院	人文科学及び社会科学	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 佐藤真悦
国立台湾科技大学 (13.9.29) ②		本学:芸術専門学群、人間総合科学研究科 前期芸術専攻、後期芸術専攻 相手:設計学院(デザイン学部)、設計研究所(デザイン研究科)	芸術、デザイン諸分野	人間総合科学研究科 芸術学専攻 穂積毅重
国立台北大学 (13.8.31) ①		本学:システム情報工学研究科 相手:商学院	経営・社会経済システム・科学工学及び関連分野	システム情報工学研究科 社会システム・マネジメント専攻 住田 潮
国立交通大学 (15.8.24) ③		本学:数理物質科学研究科 相手:電機学院	数理物質科学分野	数理物質科学研究科 電子・物理工学専攻 佐野伸行
国立台湾師範大学 (15.9.27) ①		本学:人間総合研究科(体育科学、コーチング学、スポーツ医学、スポーツ健康システム・マネジメント、体育学の各専攻)、体育専門学群 相手:スポーツとレクリエーション学院	健康・スポーツ科学及び関連分野	人間総合科学研究科 体育科学専攻 清水 諭
韓国 (20校)	高麗大学校 (13.1.31) ⑧	本学:全学(留学生センター対応) 相手:全学	協議により決定(両大学に共通する全ての領域)	人文社会科学研究科 国際公共政策専攻 鈴木伸隆
	梨花女子大学校 (13.1.31) ⑧	本学:全学 相手:全学	全領域(両大学に共通する全ての分野)	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 金 仁和
	弘益大学校 (14.4.12) ②	本学:全学 相手:全学	全領域(両大学に共通する全ての分野)	システム情報工学研究科 リスク工学専攻 鈴木 勉
	韓国科学技術院 (15.5.31) ③	本学:全学(人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻、芸術専攻、芸術専門学群、システム情報工学研究科、理工学群) 相手:全学	工業デザイン、感性インターフェース、感性インタラクション、ロボット工学、情報工学、音楽情報処理	人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻 李 昇姫
	延世大学校 (10.9.30)	本学:数理物質科学研究科 相手:理科大学	自然科学及び関連分野	数理物質科学研究科 物理学専攻 三明康郎

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
韓国 (20校)	釜山大学校 (12.2.15) ②	本学: 数理物質科学研究科 相手: 誘電体及び機能材料物理研究センター	材料科学及び関連分野	数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻 小嶋誠治
	釜山大学校 (14.3.31) ④	本学: 図書館情報メディア研究科 相手: 文献情報学科	図書館情報学及び関連分野	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 緑川信之
	忠南大学校 (12.3.20) ⑤	本学: 生物学類、生物資源学類、生命環境科学研究科 相手: 農業生命科学大学	農学、生物学、地球環境科学 及び関連分野	生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 大井 洋
	忠南大学校 (11.12.5)	本学: 医学群医学類 相手: 医科大学	医学教育、医学研究、医学分野 における産学連携方法	人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 田中 誠
	大邱大学校 (13.8.23) ⑤	本学: 障害科学専攻、人間学類、教育研究科、 人間総合科学研究科 相手: 師範大学、大学院、再活科学大学、再活科学大学院	心身障害学、リハビリテーショ ン科学及びその関連分野	人間総合科学研究科 障害科学専攻 安藤隆男
	東亜大学校 (13.1.29) ③	本学: 人文社会科学研究科 社会・国際学群 相手: 政策科学大学院、社会科学大学	公共政策及び関連分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 金 仁和
	仁荷大学校 (12.5.19) ①	本学: 人文社会科学研究科 相手: 文科大学	日本語学、日本文学、韓国語学、 韓国文学、応用言語学、比較文学、 文化交流論及び関連分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 大倉 浩
	韓国外国語大学校 (12.10.21) ②	本学: 人文社会科学研究科 日本語・日本文化学類 相手: 国際地域大学院	人文科学、社会科学、 地域研究、日本語・日本文化 及び関連分野	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 辻中 豊
	漢陽大学校 (14.1.25) ②	本学: システム情報工学研究科、経営・政策科学研究科、 環境科学研究科 相手: 都市大学院、工科大学都市工学科	都市計画及び関連分野	システム情報工学研究科 社会システム・マネジメント専攻 大村謙二郎
	ソウル大学校 (12.3.13) ②	本学: 人間総合科学研究科体育科学専攻・スポーツ医学専攻・ コーチング学専攻、体育研究科、体育専門学群 相手: 師範大学体育教育科	体育・健康・スポーツ科学及び 関連分野	人間総合科学研究科 体育科学専攻 征矢英昭
	啓明大学校 (12.10.31) ③	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、 比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 国際学大学、人文大学、社会科学大学、経営大学	人文社会科学及び関連分野 (特に、朝鮮半島文化研究、日韓 交流史、比較日本研究)	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 金 仁和
	西江大学校 (13.2.21) ②	本学: 人文社会科学研究科国際政治経済学専攻、 国際総合学類 相手: 文学部	人文社会科学分野	人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻 井出里咲子
	慶熙大学校 (14.6.16) ②	本学: 人間総合研究科(体育科学、コーチング学、スポーツ医学、スポ ーツ健康システム・マネジメント、体育学の各専攻)、体育専門学群 相手: 体育大学	健康・スポーツ科学及び関連分野	人間総合科学研究科 体育科学専攻 清水 諭
	光州科学技術院 (14.6.16) ⑤	本学: 数理物質科学研究科 相手: 全学	光工学及び関連分野	数理物質科学研究科 電子・物理工学専攻 伊藤雅英
	亜州大学 (15.5.20) ③	本学: 学際物質科学研究センター、数理物質科学研究科 相手: 工学研究科	メディシン及び治療に係るナノ テクノロジー関連分野	数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻 長崎幸夫
フィリピン (1校)	フィリピン大学 (12.11.30) ⑤	本学: 全学(生命環境科学研究科) 相手: 全学	全領域	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻 野村名可男
ベトナム (6校)	ホーチミン市科学技術局 (11.9.21)	本学: 人間総合科学研究科 相手: 全学	医学、生命科学、バイオテクノロ ジー及び関連分野	人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 大根田 修
	ベトナム国家大学ホーチミン校 (15.9.16) ⑩	本学: 全学 相手: 全学	全領域	人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 大根田 修
	熱帯生物学研究所 (11.9.21) ⑤	本学: 人間総合科学研究科 相手: 全学	医学、生命科学、バイオテクノロ ジー及び関連分野	人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 大根田 修
	バイオテクノロジーセンター (11.9.21) ⑤	本学: 人間総合科学研究科 相手: 全学	医学、生命科学、バイオテクノロ ジー及び関連分野	人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 大根田 修
	ホーチミン市医科薬科大学 (11.9.21) ⑤	本学: 人間総合科学研究科 相手: 全学	医学、生命科学、バイオテクノロ ジー及び関連分野	人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 大根田 修
	ハノイ工科大学 (14.10.15) ②	本学: 数理物質科学研究科 相手: 物理工学研究所	物質科学及び関連分野	数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻 門脇和男
タイ (10校)	カセサート大学 (14.2.24) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	協議により決定	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻 野村名可男
	キング・モンクット工科大学 トンブリ校 (11.7.31) ⑤	本学: 生命環境科学研究科 相手: 生物資源工学研究科	生物資源科学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 弦間 洋
	キング・モンクット工科大学 トンブリ校 (12.9.30) ②	本学: 数理物質科学研究科 相手: 工学部	機械工学、材料工学、製造工学 及び関連分野	数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻 宮崎修一
	タマサート大学 (11.8.31) ⑤	本学: 比較文化学類、生物資源学類、生命環境科学研究科 相手: 科学技術学部	社会科学、人文科学、比較文化、 農学、生命産業科学及び関連 分野	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻 吉田滋樹
	チュラロンコン大学 (11.8.8) ①	本学: 生命環境科学研究科 相手: 理学部	地球進化科学及び関連分野	生命環境科学研究科 地球進化科学専攻 久田健一郎
	チェンマイ大学 (12.12.31) ⑤	本学: システム情報工学研究科 相手: 工学部	工学(特に、機械工学、電子工 学)	システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 渡部 修
	コーンケン大学 (13.8.31) ②	本学: 数理物質科学研究科 相手: 薬学部	材料工学一般、バイオマテリ アル、薬学、医学及び関連 分野	数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻 長崎幸夫
	アジア工科大学院 (13.8.31) ③	本学: システム情報工学研究科 相手: 全学	建設工学、情報工学、社会工学 及び関連分野	システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 京藤敏達

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
タイ (10校)	スラナリー工科大学 (15.3.25) ⑤	本学:生命環境科学研究科、生物資源学類 相手:全学	食料、エネルギー、天然資源 及び関連分野	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻 野村名可男
	マハーサーカーム大学 (15.5.9) ①	本学:システム情報工学研究科 相手:工学部	工学(特に、機械工学)	システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 渡部 修
バングラデシュ (1校)	バングラデシュ工科大学 (12.8.31) ③	本学:システム情報工学研究科 相手:土木学部土木工学科	建設工学、基盤の工学分野 及び関連分野	システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻 武若 聡
インドネシア (2校)	ボゴール農科大学 (11.8.5) ②	本学:生命環境科学研究科、環境科学研究科、生物資源学類 相手:農学部、水産海洋科学部、畜産学部、農業工学部、 数学自然科学部、経済経営学部、人間生態学部、 林学部、大学院プログラム	農学、生物学、環境科学及び 関連分野	生命環境科学研究科 持続環境学専攻 増田美砂
	インドネシア教育大学 (11.6.12)	本学:人間総合科学研究科 相手:大学院課程	心身障害学、教育学、心理学、 体育、芸術及び関連分野	人間総合科学研究科 障害科学専攻 中田英雄
パキスタン (1校)	コーハット科学技術大学 (11.6.27) ③	本学:生命環境科学研究科 相手:大学院課程	生命環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 渡邊和男
モンゴル (2校)	モンゴル国立農業大学 (14.6.30) ③	本学:生命環境科学研究科、生命環境学群 相手:全学	農学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 田村 憲司
	モンゴル科学技術大学 (15.1.25) ②	本学:生命環境科学研究科 相手:全学	地質学、古生物学、岩石・鉱物学 水文学、地理情報学及び 関連分野	生命環境科学研究科 地球進化科学専攻 林 謙一郎
メキシコ (1校)	メキシコ大学院大学 (12.10.3) ②	本学:地域研究研究科、人文社会科学研究科 相手:全学	人文科学、社会科学及び関連 分野	人文社会科学研究科 経済学専攻 箕輪真理
ブラジル (2校)	サンパウロ大学 (14.11.24) ②	本学:人間総合科学研究科体育科学専攻、体育研究科 相手:体育スポーツ学部	健康・スポーツ科学及び関連 分野	人間総合科学研究科 体育学専攻 金谷麻理子
	サンパウロ大学 (15.2.21) ②	本学:生命環境科学研究科、生物資源学類、地球学類、 生物学類 相手:農学部	農学、林学、食品科学、経済学 生物化学及び環境科学関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 山岡裕一
チリ (1校)	チリ大学 (14.8.4) ⑤	本学:全学(生命環境科学研究科対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学研究科 国際公共政策専攻 遅野井茂雄
ペルー (1校)	カトリカ大学 (13.2.28) ③	本学:全学(特に、人文社会科学研究科、人間総合科学研究科) 相手:全学	全領域(特に、人文社会科学 (地域研究、日本研究など)、 自然科学)	人文社会科学研究科 国際公共政策専攻 遅野井茂雄
カナダ (4校)	ブリティッシュ・コロンビア大学 (期限なし)	本学:全学(留学生センター対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学研究科 国際公共政策専攻 木下太志
	トロント大学 (14.11.24) ②	本学:人間総合科学研究科体育科学専攻、体育研究科 相手:人間総合科学大学院人文社会科学専攻、体育保健学部	健康・スポーツ科学、体育学 及び関連分野	人間総合科学研究科 体育科学専攻 松村和則
	ウエスタンオンタリオ大学 (13.1.6) ②	本学:人間総合科学研究科(体育科学専攻、スポーツ医学専攻、 コーチング学専攻)、体育研究科、体育専門学群 相手:健康科学部キネシオロジー学科	体育、健康、スポーツ科学及び 関連分野	人間総合科学研究科 体育科学専攻 西保 岳
	モントリオール大学 (14.1.26) ②	本学:数理解物質科学研究科 相手:芸術・科学部化学科、薬学部	物質科学、バイオマテリアル、 薬学、医学及び関連分野	数理解物質科学研究科 物性・分子工学専攻 長崎幸夫
米国 (17校)	カリフォルニア大学 (11.3.31) ⑮FTE	本学:全学(国際総合学類対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学研究科 国際公共政策専攻 木下太志
	イサカ大学 (14.4.8) ③	本学:全学(留学生センター対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 柴田政子
	バーデュー大学 (11.4.25) ⑤	本学:全学(留学生センター対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学研究科 国際公共政策専攻 鈴木伸隆
	ニューヨーク州立大学 オスウェゴ校 (13.8.31) ⑤	本学:人間学群、国際総合学類 相手:教養学部、国際プログラム統括部	人文科学、社会科学及び関連 分野	人間総合科学研究科 教育学専攻 佐藤真理子
	ワシントン大学 (セントルイス) (13.8.31) ②	本学:人文社会科学研究科 相手:人文・科学学部、人文・科学大学院	人文・社会科学及び関連分野	人文社会科学研究科 哲学・思想専攻 木村武史
	ハワイ大学マノア校 (10.3.1)	本学:バイオシステム研究科 相手:熱帯農学部分子生物学・生物工学科	バイオシステム学、生物学 及び関連分野	生命環境科学研究科 生命産業科学専攻 北村 豊
	マサチューセッツ大学 アマースト校 (11.8.29) ④	本学:人間学類、国際総合学類 相手:全学	人文科学・社会科学(教育学、 心理学、特殊教育、国際関係 学及び関連領域を含む)	人間総合科学研究科 教育学専攻 佐藤真理子
	オハイオ州立大学 (11.8.29) ③	本学:国際総合学類、人間学類、比較文化学類、 日本語・日本文化学類 相手:人文学部	社会科学、人文科学及び関連分野	人文社会科学研究科 国際日本研究専攻 柴田政子
	ペンシルバニア大学 (11.9.3) ④	本学:人間総合科学研究科、教育研究科 相手:教育学大学院	教育学、心理学、国際関係学 及び関連分野	人間総合科学研究科 教育学専攻 佐藤真理子
	南インドアナ大学 (14.9.13) ②	本学:人間学群、人間総合科学研究科、フロンティア医科学 専攻、看護科学専攻 相手:教養学部、看護・保健科学部、教育・人間サービス学部	人間学、看護学、リハビリテー ション科学、ソーシャルワーク、 医科学及び関連分野	人間総合科学研究科 障害科学専攻 鄭 仁豪
	ミシガン大学 (14.11.30)	本学:図書館情報メディア研究科 相手:情報学研究科	協議により決定	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 椛本重雄
	アラスカ大学 フェアバンクス校 (15.1.10) ③	本学:生命環境科学研究科 相手:国際北極圏研究センター、地球物理学研究所	地球科学及び関連分野	生命環境科学研究科 地球環境科学専攻 田中 博
	ピッツバーグ大学 (14.3.15)	本学:図書館情報メディア研究科、図書館情報専門学群 相手:情報学研究科	図書館情報学及び関連分野	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 椛本重雄

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
米国 (17校)	ワシントン大学(シアトル) (12.3.29) ①	本学:人文社会科学部 相手:日本学プログラム	日本語・日本の文学、政治学、 社会学、経済、法律その他関連分	人文社会科学部 国際日本研究専攻 辻中 豊
	ネブラスカ大学 (13.3.24) ③	本学:数理工学部 相手:メディカルセンター、薬物送達及びナノメディンセンター	材料工学一般、バイオマテリアル 薬学、医学及び関連分野	数理工学部 物性・分子工学専攻 長崎幸夫
	ウィスコンシン大学 マディソン校 (14.12.14) ③	本学:学際物質科学研究センター、数理工学部 相手:全学	メディン及び治療に係るナノ テクノロジー関連分野	数理工学部 物性・分子工学専攻 長崎幸夫
	ユタ州立大学 (15.3.31) ③	本学:生命環境科学研究科、生物資源学類 相手:全学	生命科学・農学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 DeMar Taylor
	ニューヨーク州立大学 アルバニー校 (15.9.26)	本学:数理工学部 相手:全学	半導体、ナノテクノロジー、バイオ テクノロジー、グリーンエネルギー 関連分野	数理工学部 電子・物理工学専攻 山部紀久夫
オーストラリア (7校)	モナシュ大学 (15.8.31) ④	本学:全学(留学生センター対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学部 国際公共政策専攻 鈴木伸隆
	オーストラリア国立大学 (12.7.31) ④	本学:全学(留学生センター対応) 相手:全学	人文科学、社会科学、自然科学 分野(医学分野を除く)及び関連 分野	人文社会科学部 国際公共政策専攻 鈴木伸隆
	南オーストラリア大学 (10.3.17) ①	本学:システム情報工学部 相手:情報技術・工学・環境学ディビジョン	都市計画のイノベーション、都市 開発技術及び関連分野	システム情報工学部 社会システム・マネジメント専攻 村上暁信
	南オーストラリア フリンダース大学 (10.3.15) ①	本学:システム情報工学部 相手:社会科学部、フリンダース公共政策・経営学研究所	都市計画のイノベーション、都市 開発技術及び関連分野	システム情報工学部 社会システム・マネジメント専攻 村上暁信
	アデレード大学 (10.3.21) ①	本学:システム情報工学部 相手:人文・社会科学部、専門職能学部、 工学・コンピュータ・数理学部	都市計画のイノベーション、都市 開発技術及び関連分野	システム情報工学部 社会システム・マネジメント専攻 村上暁信
	クイーンズランド大学 (14.8.19) ④	本学:全学 相手:全学	両大学に共通する全ての領域	人間総合科学研究科 体育科学専攻 長谷川悦示
	シドニー大学 (11.2.28) ①	本学:人間総合科学研究科 相手:美術史・美術理論学科	芸術学(美術史・美術理論)	人間総合科学研究科 芸術学専攻 五十殿利治
ニュージーランド (1校)	オタゴ大学 (13.6.29)	本学:人間総合科学研究科(体育科学専攻、コーチング学専攻、 スポーツ医学専攻、体育学専攻) 相手:体育学部、理学療法士養成学部	体育科学、健康科学、スポーツ 科学、スポーツ医学分野及び関連 分野	人間総合科学研究科 スポーツ医学専攻 竹村雅裕
フランス (5校)	ヴィクトール・セガレン＝ポルドー 第二大学 (14.8.30) ⑤	本学:生命環境科学研究科、生物資源学類、 人間総合科学研究科、フロンティア医科学専攻 相手:全学	全領域(生命科学、医学、人間・ 社会科学)	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 浅水恵理香
	ベルフォール・モンペリエール 工科大学 (14.9.5) ②	本学:システム情報工学部、情報科学類 相手:情報工学専攻、機械工学専攻、電子工学・防衛システム専攻	電子・情報工学及び関連分野	システム情報工学部 コンピュータサイエンス専攻 北川博之
	ヨセフ・フーリエ大学 (グルノーブル第I大学) (12.3.6) ③	本学:情報学類、工学システム学類、工学基礎学類、数理工学部 研究科、システム情報工学部、人間総合科学研究科 相手:科学・技術学部、大学院修士課程	科学、工学、人間科学及び関連 分野	数理工学部 電子・物理工学専攻 秋本克洋
	フランス国立農業研究所 (12.3.31)	本学:生命環境科学研究科 相手:全学	生命科学、食料科学、環境科学 及び関連分野	生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 江面 浩
	国立技術工芸大学 (13.1.16) ②	本学:システム情報工学部構造エネルギー工学専攻、 工学システム学類 相手:機械・生産技術研究所	複合材料工学、不均質材料工学、 材料信頼性工学、マイクロメカニクス、 全視野計測を併用する実験力学 及び関連分野	システム情報工学部 構造エネルギー工学専攻 河井昌道
ドイツ (7校)	パイロイト大学 (14.8.4) ⑤	本学:全学(人文社会科学部対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学部 現代語・現代文化専攻 武井隆道
	ベルリン自由大学 (13.3.3) ⑤	本学:全学 相手:全学	全領域	人文社会科学部 文芸・言語専攻 相澤啓一
	シュツットガルト大学 (15.10.7) ②	本学:全学 相手:全学	全領域	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 磯谷順一
	ライプツヒ大学 (10.6.7) ②	本学:人間総合科学研究科体育科学専攻、体育研究科 相手:スポーツ科学部	健康・スポーツ科学及び関連分 野	人間総合科学研究科 体育科学専攻 岡出美則
	ルール大学ポッフム校 (12.3.24) ③	本学:システム情報工学部 相手:地理学研究所	都市計画、地域計画及び関連 分野	システム情報工学部 社会システム・マネジメント専攻 大村謙二郎
	ブランデンブルク工科大学 コトブス校 (12.6.25) ②	本学:人間総合科学研究科世界遺産専攻(前期)、 世界文化遺産専攻(後期) 相手:建築・土木・都市計画学部、修士課程世界遺産専攻	世界遺産学、世界文化遺産学、 建築保存と建築史及び関連分野	人間総合科学研究科 世界文化学専攻 上北恭史
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学 ミュンヘン法学部 (12.9.30) ③	本学:ビジネス科学研究科 相手:法学部	ビジネス科学(法学、経済学、 経営学)	ビジネス科学研究科 法曹専攻 新井 誠
オランダ (4校)	トウェンテ大学 (13.11.23) ③	本学:システム情報工学部、人間総合科学研究科 相手:電子工学・数学・コンピュータサイエンス学部	サイバニクス分野(工学・医学・ 人文科学・ビジネス科学)及び関連 分野	システム情報工学部 知能機能システム専攻 山海嘉之
	ユトレヒト大学 (11.9.3) ④	本学:人文社会科学部、社会学類 相手:法学部	法学	人文社会科学部 国際公共政策専攻 吉田 脩
	デルフト工科大学 (12.3.31) ②	本学:人間総合科学研究科、芸術専門学群 相手:工業デザイン工学部	感性認知脳科学、芸術学、デザ イン学及び関連分野	人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻 李 昇姫
	アイトハーベン工科大学 (13.6.11) ②	本学:人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻 芸術専攻、芸術専門学群 相手:デザイン学部	感性情報メディア、感性インタラク ション、情報デザイン、プロダクトデ ザイン、建築デザイン及び関連分 野	人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻 李 昇姫
ギリシャ (1校)	国立ヘレン研究財団 (14.8.31) ①	本学:数理工学部 相手:理論物理化学研究所	化学及び関連分野	数理工学部 化学専攻 赤坂 健

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
イギリス (3校)	シェフィールド大学 (12.8.31) ⑤	本学:全学 相手:全学	両大学に共通する全ての領域	国際部 大友真史
	マンチェスター大学 (14.8.23) ③	本学:生命環境研究科構造生物科学専攻・ 情報生物科学専攻・生命共存科学専攻、生物学類 相手:生物学部	生物学及び関連分野	生命環境科学研究科 構造生物科学専攻 古久保克男
	エディンバラ大学 (15.5.10) ⑩	本学:全学 相手:全学	計算科学、ロボット、地球科学、 医学分野	システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 佐藤三久
イタリア (3校)	サレルノ大学 (13.5.14) ①	本学:数理物質科学研究科、物理学系 相手:博士課程物理学研究科、物理学系 数理情報学研究科、数理情報学科	物理学及び関連分野	数理物質科学研究科 物理学専攻 有光敏彦
	サレルノ大学 (13.5.14) ①	本学:数理物質科学研究科、物理学系 相手:数理情報学研究科、数理情報学科	物理学、数理情報学及び 関連分野	数理物質科学研究科 物理学専攻 有光敏彦
	カタニア大学 (10.4.5) ②	本学:日本語・日本文化学類 相手:外国語学部	日本語・日本文化研究、 イタリア語・イタリア文化研究	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 沼田善子
デンマーク (1校)	デンマーク王立図書館情報大学 (14.10.14) ②	本学:図書館情報メディア研究科 相手:全学	図書館情報学及び関連分野	図書館情報メディア研究科 図書館情報メディア専攻 吉田右子
スウェーデン (3校)	スウェーデン王立美術大学 (12.3.11) ②	本学:芸術専門学群、芸術研究科、 人間総合科学研究科芸術学専攻 相手:全学	芸術及び関連分野	人間総合科学研究科 芸術専攻 田島直樹
	ヨンショピング大学 (12.3.25) ③	本学:人間総合科学研究科 相手:健康科学研究科	人間科学分野、看護医療科学 分野及び関連分野	人間総合科学研究科 看護科学専攻 安梅勅江
	ウプサラ大学 (14.1.15) ③	本学:生命環境科学研究科 相手:地球科学科	地球科学分野及び関連分野	生命環境科学研究科 生命共存科学専攻 安間了
オーストリア (1校)	ウィーン経済・経営大学 (12.4.28) ②	本学:システム情報工学研究科 相手:全学	社会工学、計量ファイナスマネジ メント及び関連分野	システム情報工学研究科 社会システム・マネジメント専攻 近藤文代
チェコ (1校)	カレル大学 (12.9.8) ③	本学:全学(ビジネス科学研究科対応) 相手:全学	協議により決定	人文社会科学研究科 法学専攻 村上正子
ポーランド (3校)	ピアリストーク大学 (更新手続中) (15.1.11) ②	本学:社会学類、国際総合学類、人文社会科学研究科、 ビジネス科学研究科 相手:全学	社会科学及び関連分野	人文社会科学研究科 法学専攻 村上正子
	ヤギェウォ大学 (ヤゲロニアン大学) (12.9.1) ②	本学:人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、 国際総合学類、地域研究研究科、人文社会科学研究科 相手:文学部、ポーランド学部	人文学、社会科学及び関連 分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
	ワルシャワ大学 (13.1.9) ②	本学:人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、 国際総合学類、人文社会科学研究科 相手:東洋学研究所	人文学、社会科学及び関連 分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
ルーマニア (1校)	ティミショアラ西大学 (15.9.22) ②	本学:全学 相手:コンピュータサイエンス学部	コンピュータサイエンス及び 関連分野	システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 井田哲雄
スロベニア (1校)	リュブリャナ大学 文学部 (12.11.3) ⑤	本学:日本語・日本文化学類、国際総合学類、 人文社会科学研究科 相手:文学部	日本語・日本文化研究、スロヴェニア 語・スロヴェニア文化研究を中心とした 人文学、社会科学及び関連分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 澤田浩子
エストニア (1校)	タリン大学 (11.1.20) ⑤	本学:人文社会科学研究科、人文学類、人間学類、 比較文化学類、日本語・日本文化学類、 国際総合学類 相手:全学	人文学及び社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 加藤百合
リトアニア (1校)	ヴィリニウス大学 (11.12.18) ⑤	本学:人文社会科学研究科、図書館情報メディア研究科、 人文学類、自然学類、比較文化学類、情報学類 人間学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類、 図書館情報専門学群 相手:全学	人文社会科学、情報学及び 関連分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 加藤百合
ラトビア (1校)	ラトビア大学 (11.1.23) ⑤	本学:人文社会科学研究科、人文学類、人間学類、比較文化 学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手:全学	人文学及び社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 加藤百合
スペイン (2校)	サラマンカ大学 (13.2.4) ②	本学:全学 相手:文学部	全領域	人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻 宮崎和夫
	マドリッド・コンプルテンセ大学 (13.12.31) ①	本学:数理物質科学研究科 相手:全学	化学及び関連分野	数理物質科学研究科 化学専攻 赤坂 健
チュニジア (3校)	カルタゴ11月7日大学 (11.3.18) ②	本学:生命環境科学研究科、システム情報工学研究科 相手:国立チュニジア農業学院、国立応用科学技術院	バイオテクノロジー、環境科学、 情報通信工学及び関連分野	生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 宮崎 均
	スファックス大学 (11.10.25) ②	本学:生命環境科学研究科 相手:理学部、医学部	バイオテクノロジー、環境科学 及び関連分野	生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 宮崎 均
	スース大学 (11.12.5) ②	本学:人文社会科学研究科、人文学類、比較文化学類、 日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手:文学・人文学部、法律・政経学部、芸術学院、 ビジネス高等学院、マネジメント高等学院	人文学、社会科学 及び北アフリカ関連分野	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 青木三郎
エジプト (2校)	カイロ大学 (13.6.25) ②	本学:生命環境科学研究科、人文社会科学研究科、 ビジネス科学研究科、システム情報工学研究科、 図書館情報メディア研究科 相手:農学部、文学部、コンピューター情報科学部、 薬理学部、政治経済学部、法学部	生命環境科学、人文学、ビジ ネス科学、情報通信科学等	生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 宮崎 均
	アインシャムス大学 (13.2.8) ④	本学:人文・文化学群、人文社会科学研究科、 地域研究研究科、北アフリカ研究センター 相手:外国語学部	日本語・日本文化研究、アラビア 語・アラビア文化研究、中近東 地域研究等	人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻 小松祐子
モロッコ (2校)	モハムド5世大学-アグダル (15.3.16) ②	本学:全学(生命環境科学研究科、人文社会科学研究科、 システム情報工学研究科、人間総合科学研究科) 相手:全学	協議により決定(両大学に共通するすべ ての領域 特に、バイオテクノロジー、環境科 学、人文学、情報通信工学)	生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 宮崎 均
	カディ・アヤド大学 (15.3.16) ③	本学:全学(生命環境科学研究科、人文社会科学研究科、 システム情報工学研究科、北アフリカ研究センター) 相手:全学	両機関に共通する全ての領域 (主に生命環境科学、人文社会 科学、情報工学)	国際部 森尾貴広

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

国名	協定大学等名 (協定有効期限)	交流対象の教育組織等	交流分野	協定に係る 連絡調整責任者
ナイジェリア (1校)	ナイジェリア大学 (12.10.16) ②	本学: 生命環境科学研究科 相手: 生命科学部	微生物科学、生化学、植物科学、動物科学、農学、環境科学及び関連分野	生命環境科学研究科 生物機能科学専攻 國府田悦男
スーダン (1校)	スーダン科学アカデミー (13.10.27) ①	本学: 全学(大学院生) 相手: 全学	両機関に共通する全ての領域	国際部長 橋田正造
アルジェリア (1校)	ホウアリ・ブーメディエン工科大学 (15.3.16) ③	本学: 全学(生命環境科学研究科、人文社会科学研究科、システム情報工学研究科、北アフリカ研究センター) 相手: 全学	両機関に共通する全ての領域 (主に生命環境科学、都市工学、情報工学)	国際部 森尾貴広
リビア (1校)	セブハ大学 (15.5.13) ③	本学: 人文社会科学研究科国際政治経済学専攻、国際総合学類 相手: 文学部	人文社会科学分野	人文社会科学研究科 現代語・現代文化専攻 井出里咲子
ロシア (2校)	モスクワ市立教育大学 (14.05.21) ⑤	本学: 日本語・日本文化学類、外国語センター、人間総合科学研究科、人文社会科学研究科 相手: 全学	全領域	人間総合科学研究科 教育学専攻 嶺井明子
	サンクト・ペテルブルク大学 (12.2.17) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、人間学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 文学部	人文科学、社会科学、ロシア語研修	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
ウクライナ (1校)	キエフ国立大学 (11.9.10) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、社会学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、人間学類、国際総合学類 相手: 全学	人文科学及び社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
ウズベキスタン (3校)	タシケント国立東洋学大学 (10.5.26) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、人間学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 全学	人文科学及び社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
	世界経済外交大学 (11.9.28) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、人間学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 全学	人文社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
	サマルカンド国立外国語大学 (11.9.29) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻、芸術研究科、芸術専門学群、人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、人間学類、国際総合学類 相手: 全学	人文社会科学及び人間総合科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
カザフスタン (3校)	ユーラシア国立大学 (11.8.15) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、生命環境科学研究科、人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、人間学類、国際総合学類、生物資源学類 相手: 全学	人文科学、社会科学、生命環境科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
	カザフ国立大学 (12.10.24) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 全学	人文社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
	カザフ経済大学 (12.10.10) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 全学	人文社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
キルギス (1校)	キルギス国立大学 (10.5.26) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、人間学類、国際総合学類 相手: 全学	人文科学及び社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
タジキスタン (1校)	ロシア・タジク・スラヴ大学 (12.9.18) ⑤	本学: 人文社会科学研究科、人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 全学	人文社会科学	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 臼山利信
サウジアラビア (2校)	イマーム大学 (15.7.7) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	国際部 大友貴史
	キング・アブドゥールアジーズ大学 (15.7.7) ⑤	本学: 全学 相手: 全学	両大学に共通する全ての領域	国際部 大友貴史
トルコ (1校)	ボアジチ大学 (13.3.4) ②	本学: 人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、国際総合学類 相手: 文理学部	トルコ語・トルコ文化、日本語・日本文化、日本語教育	人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 石田ブリシラ

合 計: 50か国・^{タイキ}地域 192機関 (授業料等相互不徴収機関: 180機関)

(注) 網かけの大学は、授業料を相互不徴収とする協定校を示す。○内の数字は、不徴収となる学生数を示す。

5 除籍について

除籍は、大学院学則第60条の各号いずれかに該当する場合には行います。

【大学院学則抜粋】

第60条 次の各号のいずれかに該当する学生は、学長が除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
 - (2) 在学年限を超えた者
 - (3) 第54条第1項から第3項までに規定する休学期間を超えて、なお修学できない者
 - (4) 入学料の免除又は徴収猶予を申請した者のうち、免除若しくは徴収猶予が不許可となった者若しくは半額免除が許可となった者で、所定の期日までに入学料を納付しないもの又は徴収猶予が許可となった者で、徴収猶予期間を超えて、なお入学料を納付しないもの
- 2 前項に規定するもののほか、除籍に関し必要な事項は、法人規程で定める。

6 懲戒について

大学には教育研究環境を良好に保ち、大学の秩序を維持するために必要最小限の決まりとして大学院学則を始めとして種々の規則があります。学生がこれらの規則に違反した場合及び学生としての本分に反する行為をした場合は、懲戒処分が行われることとなります。

【大学院学則抜粋】

(懲戒)

第66条 学長は、この法人規則その他の法人規則に違反した学生又は学生としての本分に反する行為をした学生を懲戒することができる。

- 2 前項の懲戒の種類は、懲戒退学、停学及び訓告とする。
- 3 学長が懲戒を行う場合には、第1項に規定する事由に該当するか否かについて、学生生活を担当する副学長の下に置かれる委員会において、事実の調査及び確認を行うことを常例とする。
- 4 学長が懲戒を行った場合は、学籍簿にその旨を記載する。

(懲戒退学)

第67条 懲戒退学は、次のいずれかに該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者
- (2) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (3) 秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

- 2 学長は、懲戒退学を行う場合には、教育研究評議会の議を経るものとする。

(停学)

第68条 停学の期間は、1年6月を超えない範囲で定めるものとする。

- 2 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。ただし、1月を超えないときは、修業年限に算入することができる。
- 3 学長は、停学を命じる場合には、教育研究評議会の議を経るものとする。

(訓告)

第69条 学長は、訓告を行う場合には、教育研究評議会の議を経るものとする。

7 授業料の納付について

- (1) 授業料の額

第1期分 267,900円

第2期分 267,900円

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時より新授業料が適用されます。

(2) 納付期限

第1期分 5月末日 : 口座振替日は 5月27日(金融機関が休みの場合は翌営業日)

第2期分 11月末日 : 口座振替日は11月27日(")

(3) 納付方法

授業料は、休学等特別の事由がある場合を除き、預金口座振替により納付していただくことになりますので、必ず「預金口座振替依頼書」を提出してください。

休学等特別の事由がある場合には、別途大学からお渡しする「払込票」により、最寄の金融機関で振り込んでください。

(4) 領収証書

口座振替により納付の場合は、通帳に「ツクバダイ」と記帳されます。払込票による納付の場合は、払込金融機関から受領書が交付されます。別途、大学からの領収書が必要な場合には、財務管理課出納係(本部棟3階)に申し出てください。

(5) その他

希望により第1期分納付の際に第2期分もあわせて納付することができます。

8 授業料の免除及び奨学金等について

【1】授業料の免除等

授業料の減免処置として、各期(第1期・第2期)ごとの納付すべき授業料の全額又は半額を免除する制度があります。また、免除の他にも授業料の徴収猶予又は月割分納の制度があります。

(1) 申請資格

経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

授業料の納付の時期前6カ月以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる者

授業料の納付の時期前6カ月以内において、学資負担者が真にやむを得ない事由により失職し、著しく経済的に困難をきたしている者。ただし、学資負担者の失職の事由が、長期療養のためである場合は、その時期が授業料の納付の時期前6カ月以内であることを要しない。

その他学長が特別な事情があると認めた者

(2) 申請手続

授業料の免除等を希望する者は、対応支援室学生支援・教務担当の窓口で申請書類の交付を受け、別途掲示により周知する日までに必要書類を添えて申請してください。(掲示等に十分注意してください。)

なお、詳細については、対応支援室学生支援・教務担当又は学生生活課(経済支援)[スチューデントプラザ3階]へ問い合わせてください。

【2】奨学金

奨学金制度としては、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体があります。

これらの奨学金制度においては、いずれも学業・人物ともに優秀で、かつ、健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められたものが対象となっています。

1 筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」

留学生に対する経済支援、学生への海外留学支援及び緊急時の学資支援を行うことにより、学生が安心して勉学に専念できる環境を確保することを目的とした留学生支援、海外留学支援及び緊急支援の奨学金制度があります。

なお、詳細については、ホームページ（奨学制度・修学支援）の筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」をご覧ください。学生生活課（経済支援）又は留学生交流課に問い合わせください。

2 日本学生支援機構

日本学生支援機構の奨学金（貸与）は、経済的な理由により修学に困難がある優秀な学生に対し、学資の貸与を行うことにより、国家・社会に有意な人材を育成することを目的とした奨学金制度で、留学生には申込資格がありません。

(1) 奨学金の種別・貸与月額・募集時期（平成22年度参考例）

種別 事項	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額 貸与奨学金
対象	修士課程・博士課程	修士課程・博士課程	修士課程・博士課程
貸与月額	修士課程、一貫制博士課程1・2年次、 博士前期課程 50,000円、88,000円 一貫制博士課程3年次以上、博士後期 課程、人間総合科学研究科（医学の課 程） 80,000円、122,000円	貸与月額が選択できます。 金額は、次のとおりです。 50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円 190,000円(法曹専攻のみ) 220,000円(法曹専攻のみ)	入学年度において、希望により基本月額に定額（10、20、30、40、50万円）を増額して受けることが可能。（初回振込時の1回限り。）
貸与形態	無利子貸与	有利子貸与（利率算定方法選択制）	
募集期間	4月中旬～4月下旬 その他家計急変のための緊急・応急採用については、年間を通じて随時。		
備考	全て掲示及びホームページにより周知しますので、十分に注意してください。		

(2) 申込手続

在学採用で奨学金の貸与を希望する学生は4月に開催される奨学金申込説明会会場で、申込書を受け取り、説明を聞いたうえで対応支援室学生支援・教務担当に必要書類を添えて申し込んでください。その他、家計の急変時等の場合には、対応支援室学生支援・教務担当で申込書を受け取り、同担当に必要書類を添えて申し込んでください。

(3) 採否の決定

本学において学業成績、家計状況、健康、人物等を考慮して選考を行い、日本学生支援機構に推薦します。

なお、入学前に予約採用で候補者となっている者は、入学後にパスワードを受領して、日本学生支援機構のホームページにアクセスし、進学届を出して採用が決定されます。提出時期については、新入生オリエンテーションで周知しますので、見落としがないよう十分に注意してください。

(4) 奨学金の振込み

奨学金は、原則として毎月1回、指定の銀行口座に振り込まれます。振り込まれた奨学金は、毎月11日前後（4月振込分は4月下旬。5月振込分は5月中旬）に随時引き出すことができます。

(5) 奨学生適格認定

奨学生は、毎年度冬季に「奨学金継続願」をインターネットを通じて提出し、奨学生としての適格性を有する者であるか否かの認定を受けなければなりません。提出を怠った場合には、奨学金を必要としなくなったものとみなし、奨学金の交付が廃止されますので、十分に注意してください。また、学業成績が著しく不良であったり、単位が不足したりすると奨学金の交付が停止になったり、最悪の場合には奨学生の身分が打ち切られますので、勉学に励んでください。

(6) 異動の届出

退学、休学、復学、留学、辞退、転研究科等の異動が生じた場合は、直ちに日本学生支援機構に届け出なければならないので、速やかに当該対応支援室学生支援・教務担当に連絡をし、所定の異動願（届）を提出してください。この届出が遅れると、一度振り込まれた奨学金の返金を求められたり、奨学金が振り込まれないよ

うな事態が発生しますので、必ず手続きをしてください。

なお、詳細については、対応支援室学生支援・教務担当又は学生生活課（経済支援）にお問い合わせください。

3 地方公共団体及び民間奨学団体奨学金

奨学生の募集は、大学を通じて募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学に募集案内が送付されてきた奨学団体はホームページに掲載されています。

(<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/scholarship-links.html>)

なお、詳細については、対応支援室学生支援・教務担当又は学生生活課（経済支援）にお問い合わせください。

9 アルバイト

アルバイトの求人は、「家庭教師」、「塾講師」、「語学教師」、「その他（一般）」の4区分で受け付け、各支援室の掲示板に掲示しています。

「家庭教師」、「塾講師」、「語学教師」のアルバイトは、大学が紹介する方式をとっています。希望する学生は、対応支援室学生支援担当の窓口で申し込み、紹介状及び面接報告書を受け取ってから求人先と連絡をとることになります。

「その他（一般）」のアルバイトは、各自が直接求人先に申し込むこととなります。

なお、過去にアルバイト先との間に条件面が原因で金銭上のトラブルが発生したケースがありますので、求人先と契約を結ぶ前に労働条件等を十分確認して、納得できるものを各自の責任において選択するようにしてください。

特に「その他（一般）」のアルバイトにおいては、雇用主との契約内容等について、必ず書面にて確認するようにしてください。

10 福利厚生施設について

校内には、各エリアに食堂、喫茶、書店等の福利厚生施設があります。

場 所	業務内容
1 A棟	食堂、小食堂、喫茶、書籍・文房具、パン販売
1 D棟	パン販売
2 B棟	食堂、小食堂、喫茶、書籍・文房具、パン販売（2ヶ所）
3 A棟	食堂、専門店（うどん・そば、カレー、中華、和食）、喫茶、書籍・文房具、パン販売（2ヶ所）
総合研究棟B棟	パン販売
体芸福利厚生棟	食堂、小食堂、画材・文房具、喫茶・写真・スポーツ用品
5 C棟	パン販売（2ヶ所）
医学福利厚生棟	食堂、喫茶、書籍・文房具、パン販売
4 B棟	パン販売
春日地区生活センター	食堂（パン販売）、書籍・文房具
本部棟	食堂、パン販売
大学会館（本館・別館）	レストラン、書籍・文房具、食品・日用品雑貨、画材等
中央図書館	コーヒーショップ
平砂学生宿舎共用棟	食堂、電化製品、理容、浴場
追越学生宿舎共用棟	美容、浴場、自転車、電化製品
一の矢学生宿舎共用棟	食堂、食品・日用品雑貨、電化製品、理容、浴場、コインシャワー、自転車出張修理

【筑波大学厚生会】

筑波大学厚生会は、筑波大学の学生・教職員が快適で充実した大学生活が送れるように設立された組織です。現在、民間業者の協力を得て、食堂、喫茶、各種売店、理・美容室、浴場、コインシャワーの営業を行い、皆さんの利用に供しています。

1 1 学生宿舎及びアパートについて

本学には、キャンパスの南地区、北地区及び春日地区に合わせて居住棟60棟（単身用3,874人、世帯用250室）と共用棟3棟からなる学生宿舎があります。

この学生宿舎は学生に良好な勉学の環境を提供し、自律的な市民生活を体験させることを目的として設けられたものです。詳細については、学生生活課（厚生・宿舎）（029-853-2265～6）又は財団法人筑波学都資金財団の学生宿舎管理事務所（以下「管理事務所」という。）（029-858-0131）へ問い合わせてください。

1 運 営

学生宿舎の日常的な運営業務は、管理事務所が行っています。

2 建 物【鉄筋コンクリート造り】

地区	名 称	構 造	棟数	定 数	1居室の形態及び広さ	寄宿料	
南	平 砂	3～4階建て	10棟	1,286人	単身用個室、約10㎡	6,700円	
	追 越	4～5階建て	13棟	793人	トイレ、風呂、台所は共用	8,000円	
	追越南	4階建て	3棟	136人	新単身用個室、約16㎡ シャワー、ミニキッチン（IH）、 エアコン付	24,200円	
北	一 の 矢	4～5階建て	13棟	853人	単身用個室、約10㎡ トイレ、風呂、台所は共用	6,700円 8,000円	
		4階建て	7棟	300人	単身用二人室、約30㎡ トイレ、流し台（ガス台無）付	9,000円	
		8階 建て	（1～3 階部分）	3棟	6人	単身用個室、約30㎡ トイレ、キッチン付	16,100円
					58人	単身用個室、約30㎡ トイレ、キッチン付	16,100円
		（4～8 階部分）	126世帯	世帯用、約30㎡、1K	16,100円		
	4階建て	3棟	64世帯	世帯用、約30㎡、1K	21,000円		
	一の矢南	4階建て	3棟	144人	新単身用個室 Aタイプ約14㎡：バス、トイレ付 Bタイプ約13㎡：シャワー、トイ レ、キッチン、エアコン付	8,500円	
			72人	Bタイプ約13㎡：シャワー、トイ レ、キッチン、エアコン付	8,100円		
	4階建て	2棟	56世帯	新世帯用、約41㎡、1DK エアコン付	21,200円		
春日	春 日	5階建て	2棟	160人	単身用個室、約10㎡ トイレ、風呂、台所は共用	6,700円	
		4階建て （留学生宿舎）	1棟	16人	単身用個室、約18㎡ ユニットバス、キッチン、エアコン、 冷蔵庫付	10,400円	
				2世帯	夫婦用、約35㎡ 同上	18,400円	
				2世帯	家族用、約53㎡ 同上	26,900円	

寄宿料の 印は、リニューアル改修を行った建物の料金です。

各地区とも暖房設備が設けられ、例年 11 月 16 日～3 月 21 日（12 月 29 日～1 月 3 日は除く）が暖房期間です。居住棟には、それぞれ共同利用の洗濯室（コイン式の洗濯機と乾燥機あり）、補食室（流し台とガス台あり）、トイレなどがあります。

共用棟には、管理事務室、食堂、浴場、理容室・美容室など、日常生活に必要な施設があります。

3 居室の状況

室内には、ベッド（寝具一式付き）机、椅子、洗面台等の調度品が備えてあります。

4 インターネット環境

全室に有線 LAN が敷設され、無料で利用できます。

5 宿舍電話

「春日地区」を除く全居室に宿舍電話システム（以下「宿舍電話」という。）が導入されており、内線電話は無料で利用できます。

宿舍電話のかけ方

宿舍内線	大学内線へ	90 + 大学内線番号
大学内線	一の矢宿舍へ	97 + 宿舍内線番号
大学内線	平砂・追越宿舍へ	98 + 宿舍内線番号

6 入居申込先

単身用の場合：平砂管理事務所【平砂共用棟 2 階】

世帯用の場合：学生生活課（厚生・宿舍）【スチューデントプラザ 3 階】

7 入居期間

学生宿舍の入居期間は、入居を許可された年度内（3 月 31 日まで）を原則とします。翌年度も入居を希望する場合は、例年 10 月～12 月頃に翌年度の入居者募集を行うので、各支援室の掲示に従って申し込んでください。募集定員を超えた場合は抽選となります。

8 寄宿料等

1 カ月当たりの寄宿料は「2 建物」の表のとおりです。なお、これ以外に管理事務所が徴収する共益費が必要になります。また、入居の際は保証金 3 万円（滞納時の補てん、退去時の清掃等で清算）が必要です。

9 ゴみの分別収集

学生宿舍から出るゴミは、つくば市の分別方法に従って、決められた曜日の朝 8 時までにゴミ集積所に出してください。分別方法の詳細は、居室に配付されている「ごみの分け方・出し方ハンドブック」に従ってください。

燃やせるごみ	燃やせないごみ	ペットボトル	か ん	び ん	古紙・古布	スプレーかん
週 2 回	月 2 回	月 2 回	月 2 回	月 2 回	月 2 回	月 2 回
生ごみ プラスチック類 食品トレー 革製品・靴 ビニール 紙くず CD・DVD・MD 等	ガラス・陶器類 食品以外のピン ピン等の金属製蓋 プラスチックと金属の複合製品 白熱電球 割れた蛍光管 アルミ箔 調理器具(ナベ等) 小型電気製品 傘・時計	飲料・しょうゆ・酒のペットボトル (フタを外し、中身を洗い、ラベルをはがす)	飲料・食品の空き缶 (汚れのひどいものは燃やせないゴミ)	飲料・食品の空きびん (汚れのひどいもの、割れたものは燃やせないゴミ)	新聞・チラシ 雑誌・本 雑紙 ダンボール 木綿・ウールの衣類等 (布団・カーペットは粗大ゴミ)	キャップをとり、穴をあけてびんの日に

粗大ゴミは、予約制・有料収集です。

蛍光管・乾電池・水銀式体温計は、共用棟の管理事務室前へ。

テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・パソコンは、法令により市では収集しません。

125CC以上のオートバイ、タイヤ、バッテリー、ガスボンベ、ブロック、廃油・塗料などは収集しません。

なお、学生宿舎からアパート等へ移ってもゴミの分別収集方法は同様ですので、各自が清潔かつ快適に過ごせるように環境美化に心がけてください。

10 学生宿舎地区駐車場の利用について

(1) 駐車証の交付について

自動車を持ち込めるのは、春日地区以外の学生宿舎となっており、全て有料です。

学生宿舎に自動車の持ち込みを希望する場合には、スチューデントプラザ3階の学生生活課で所定の手続きをとってください。提出された申請書類の内容を確認後、申請順に許可し「駐車証」を交付します。ただし、駐車スペースは限りがあるため、許可されない場合もあります(世帯用は1世帯1台)。なお、学生宿舎から自動車での通学は、原則としてできません。また、この「駐車証」の交付を受けていない者は、自動車の持ち込みはできません。

(2) 利用できる駐車場

駐車証の交付を受けた者は、指定された駐車場に限って利用することができます。

(3) 申請方法について

各地区の管理事務室で申請書と誓約書の用紙を受け取り、車検証と任意保険の契約書のコピーを添えて提出してください。その際、学生証と免許証の提示が必要です。

11 アパート等

本学周辺地域に相当数のアパートがあります。家賃等については、地域、建築年数や付属設備の有無により差がありますが、平均的な料金(月額)は、アパート(6畳、台所、フロ、トイレ付)で35,000円~50,000円位です。敷金及び礼金については、それぞれ部屋代の1~2カ月相当分です。

なお、アパート等の情報提供については、学生生活課(厚生・宿舎)で取り扱っています。

1.2 学生教育研究災害傷害保険について

本学では、教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、本学が保険料を負担し平成20年4月から全学生が学生教育研究災害傷害保険(通称「学研災」)に一括加入することになりました。

1 保険の対象となる学生

本学における全員加入の対象となる学生は以下のとおりです。(保険料は大学負担)

- (1) 正規生・・・学群生、大学院生(夜間を含む) 理療科教員養成施設生
- (2) 非正規生・・・科目等履修生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生、日本語研修生

2 対象となる活動範囲

- (1) 国内外における本学の教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を被った場合。

「教育研究活動中」とは次の場合をいいます。

正課中

講義、実験・実習、演習または実技による授業(以上を総称して以下「授業」といいます。)を受けている間をいい、次に掲げる間を含みます。

イ 指導教員の指示に基づき、卒業論文研究または学位論文研究に従事している間。

ただし、もっぱら被保険者の私的生活にかかる場所においてこれらに従事している間を除きます。

ロ 指導教員の指示に基づき授業の準備もしくは後始末を行っている間または、授業を行う場所、大学の図書館・資料室もしくは語学学習施設において研究活動を行っている間。

学校行事中

大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間。

以外で学校施設内にいる間

大学が教育活動のために所有、使用または管理している施設内にいる間。ただし寄宿舎にいる間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間または大学が禁じた行為を行っている間を除きます。

学校施設外で大学に届け出た課外活動（クラブ活動）を行っている間

大学の規則に則った所定の手続きにより、大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動または体育活動を行っている間。ただし山岳登はんやハンググライダーなどの危険なスポーツを行っている間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間または大学が禁じた行為を行っている間を除きます。

- (2) 通学中の事故・学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合。

通学中

大学の授業等、学校行事または課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路および方法（大学が禁じた方法を除きます。）により、住居と学校施設等との間を往復する間。

学校施設等相互間の移動中

大学の授業等、学校行事または課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路および方法（大学が禁じた方法を除きます。）により、大学が教育活動のために所有、使用または管理している施設の他、授業等、学校行事または課外活動（クラブ活動）の行われる場所の相互間を移動している間。

3 保険金が支払われない主な場合

故意、闘争行為・自殺行為・犯罪行為、無資格運転・酒酔い運転中に生じた事故、脳疾患・疾病・心神喪失、地震・噴火・津波、核燃料物質の有害な特性などによる事故、他覚症状のないむちうち症および腰痛、山岳登はん（ピッケル等の登山用具を使用するもの）、リュージュ・ボブスレー・ハングライダー等の危険な運動中の事故、課外活動として行う公道以外での自動車等の乗用具による競技、競争、興業（いずれも練習を含みます）、試運転など。

なお、飲酒による急性アルコール中毒症や時間の経過により重大化した傷害など急激・偶然・外来の条件を充足しない事故も対象となりません。

4 保険金の種類と金額

担 保 範 囲	死亡保険金	後遺障害保険金	医 療 保 険 金	入院加算金
正課中、学校行事中	2,000 万円	90 万円～ 3,000 万円	治療日数 1 日以上が 対象: 3 千円～30 万円	1 日につき 4,000 円
上記以外で学校施設内 にいる間	1,000 万円	45 万円～ 1,500 万円	治療日数 14 日以上が 対象: 3 万円～30 万円	1 日につき 4,000 円
学校施設外で大学に届 け出た課外活動中	1,000 万円	45 万円～ 1,500 万円	治療日数 14 日以上が 対象: 3 万円～30 万円	1 日につき 4,000 円
通 学 中	1,000 万円	45 万円～ 1,500 万円	治療日数 4 日以上が対 象: 6 千円～30 万円	1 日につき 4,000 円
学校施設等相互間の 移動中	1,000 万円	45 万円～ 1,500 万円	治療日数 4 日以上が対 象: 6 千円～30 万円	1 日につき 4,000 円

入院加算金は、医療保険金に関係なく、入院 1 日目から支払われます。

5 保険金の請求方法

保険事故が発生したときは、学生自らが事故の報告及び保険金の請求手続きを行います。

- (1) 事故の通知

保険事故が発生したときは、ただちに事故の日時・場所・状況・傷害の程度を遅滞なく各支援室学生支援または学生生活課（学生支援）へ事故の報告をして、「事故通知はがき」を入手し事故後 30 日以内に「事故通知はがき」を保険会社へ送付する。

- (2) 保険金の請求

治療後に「学生教育研究災害傷害保険請求書」に各証明印をとりつけ、治療状況報告書及び診察券等を添えて各支援室学生支援へ提出する。保険金の請求金額が 10 万円を超える場合は診断書が必要となります。

6 その他

- (1) 新入生全員に入学手続き書類と一緒に「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を配布します。しおりには、保険金請求等に関する必要事項が記載されていますので内容をよく確認しておいてください。
- (2) 学研災以外に、学生が正課、学校行事、課外活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりすることにより学生が被る損害賠償責任について補償がうけられる「学研災付帯賠償責任保険」にも任意（自己負担）で加入することができます。加入を希望する場合には各支援室学生支援または学生生活課（学生支援）に申し出てください。

対象となった事故例

1 教育研究活動中

- (1) 正課中
 - ・バスケットボールの授業中、激しく相手とぶつかり脳挫傷で死亡。（2,000万円支払）
 - ・ガラス管にゴム栓を入れた時に管が折れ、右手親指切傷。（3万円支払）
 - ・ゼミの雪上キャンプでスキー滑走中に転倒し、左右膝損傷。（31.8万円支払）
- (2) 学校行事中
 - ・大学祭で出店したとき使用したガスコンロが破裂し、手・顔面の火傷。（8.2万円支払）
 - ・新入生オリエンテーション用の椅子を出しているとき、指を挟み左手小指骨折。（1.5万円支払）
- (3) 学校施設内にいる間（(1)、(2)以外）
 - ・校内で転倒、後頭部頭蓋骨等骨折、左顔面麻痺と左耳の聴力障害。（270万円支払）
 - ・サッカーをしていて足を捻った際、左足首剥離骨折。（5万円支払）
- (4) 学校施設外で大学に届け出た課外活動（クラブ活動）を行っている間
 - ・駅伝の予選大会で熱中症により死亡。（1,000万円支払）
 - ・水球の練習中、他選手の足が右眼に当り、右眼網膜剥離。（23.4万円支払）
 - ・新体操部の発表会で宙返り着地に失敗し、頭部打撲。（41.4万円支払）

2 通学中等傷害危険担保特約

- (1) 通学中
 - ・歩行中、歩道に乗り上げた自動車にひかれ上位脊髄損傷で死亡。（1,000万円支払）
 - ・バイクで登校中、交差点で対向車と衝突、脳挫傷により意識不明。（1,500万円支払）
 - ・登校中、駅の階段を降りるとき、誤って転倒し、左足関節捻挫。（5万円支払）
- (2) 学校施設等相互間の移動
 - ・農学部で実験を行い、バイクで工学部に帰る途中転倒し、前腕骨折。（9万円支払）

1.3 研修施設の利用について

学生及び教職員の研修、課外活動及びレクリエーション等に利用できる次の施設があります。

利用希望者は、スチューデントプラザ3階の学生生活課（学生支援）（853-2250）において所定の手続きをとってください。

- (1) 開学記念館
所在地 本学構内（筑波大学西バス停留所前）
- (2) 館山研修所
所在地 〒294-0045 千葉県館山市北条2861番地（館山市北条海岸、JR館山駅下車徒歩約3分）
- (3) 石打研修所
所在地 〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子1819-313
（JR越後湯沢駅下車、舞子経由六日町行バス約20分、万条新田下車徒歩約10分）
- (4) 山中共同研修所（関東甲信越地区国立大学共同利用研修施設）

所在地 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 479
(山中湖湖畔、新宿駅から中央高速バス平野行約2時間20分、撫岳荘前下車、徒歩約7分)

(5) 草津セミナーハウス (関東甲信越地区国立大学共同利用研修施設)

所在地 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根 737
(白根国有林内、JR長野原草津口駅下車、JRバス約25分、草津パスターミナル下車徒歩約20分)

*利用希望者は、直接群馬大学学生支援課(Tel 027-220-7145)へ申し込む

(6) 大学セミナー・ハウス

所在地 〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1
(JR八王子駅、京王線北野駅、京王相模原線南大沢駅下車、各駅から京王バス乗車、野猿峠下車徒歩約5分)

*利用希望者は、直接大学セミナー・ハウス(Tel 042-676-8511)へ申し込む

1 4 教育・研究センター施設の利用について

教育・研究を目的とする次のセンターに付属して宿泊施設がありますが、利用は、指導教員のもとに行われる教育・研究に限られています。詳細については、各センター事務室へ問い合わせてください。

(1) 下田臨海実験センター

所在地 〒415-0025 静岡県下田市 5-10-1 (0558-22-1317)

(2) 菅平高原実験センター

所在地 〒386-2201 長野県小県郡真田町大字長 1278-294 (0268-74-2002)

(3) 農林技術センター (853-2542、2543)

・八ヶ岳演習林

所在地 〒384-1305 長野県佐久郡南牧村野辺山 562-4 (0267-98-2412)

・井川演習林

所在地 〒428-0504 静岡県静岡市井川 1621-2 (054-260-2419)

1 5 附属図書館について

本学の附属図書館は、中央図書館、体育・芸術図書館、医学図書館、図書館情報学図書館及び大塚図書館の5館からなり、約252万冊の図書と約2万9千タイトルの雑誌を所蔵しています。

中央図書館はキャンパスのほぼ中央に位置し、分野毎にフロアを分けて資料を配架しています。体育・芸術図書館、医学図書館及び図書館情報学図書館はそれぞれ南地区、西地区、春日地区に、大塚図書館は東京キャンパスにあり、それぞれの専門分野の資料を中心に配架しています。

附属図書館の概要は以下のとおりです。利用の詳細については、「附属図書館利用案内」を参照するか、各館の係員にお尋ねください。

(1) 開館時間

* () 内は貸出時間

筑波キャンパス	曜日等	学期中	春季・夏季休業中
中央、体育・芸術、 図書館情報学図書館	月～金	9:00～22:00 (9:00～21:30)	9:00～17:00 (9:00～16:30)
	土・日・祝	10:00～18:00 (10:30～17:30)	休館
医学図書館		9:00～22:00 (9:00～21:30)	9:00～20:00 (9:00～19:30)

【土、日、祝休日、平日夜間(17:00以降)の利用】

・中央図書館の1階貴重書庫、和装本書庫、2階マイクロ資料は利用できません。

・サービス内容は、閲覧、貸出、文献複写、研究個室及びセミナー室の利用、電子図書館サービスのみとなります。

東京キャンパス	月	火～金	土	日・祝
大塚図書館	10:30～18:30 (10:30～18:30)	13:00～21:10 (13:00～21:10)	13:00～19:50 (13:00～19:50)	休館

注 1) 各館とも 12 月 27 日から翌年 1 月 5 日までは休館。なお、臨時休館等はその都度、図書館のホームページ等でお知らせします。

注 2) 大塚図書館は改築工事の為、平成 23 年 8 月までは神保町に移転します。工事期間中は利用できない資料もありますので、カウンターでご相談ください。

(2) 閲 覧

図書・雑誌は自由に閲覧することができます。ただし、中央図書館の貴重図書及び和装本等は、新館 1 階古典資料事務室で閲覧申し込みの手続きが必要です。

(3) 館外貸出

対象資料：一般図書（「参考」、「禁帯出」及び「本学関係資料」のラベルが貼付してあるものを除きます。）

冊数及び期間（大学院学生）：20 冊、3 週間（更新・貸出期間の延長は 3 回）（ただし、予約がある場合は更新できません。）

貸出手続：自動貸出装置を利用して自分で貸出・更新できます。表紙にバーコードが貼付されていない図書は、学生証を添えてメインカウンター（貸出）に申し出てください。また、更新は図書館 Web サイトの「マイライブラリ」からも可能です。

貸出予約：他の利用者が一般貸出中の図書に対して、5 冊まで蔵書検索（OPAC）から貸出予約ができます。

ペナルティ：返却期限に遅れた図書館資料（延滞資料）が 1 点でもある場合は、新たな貸出・更新・予約・取り寄せ（筑波 東京）ができません。また、すべての延滞資料が返却された日の翌日から、最も長い延滞日数分、貸出等が停止されます。

例）3 点の延滞資料のうち、7 日遅れた資料が 1 点、3 日遅れた資料が 2 点の場合、ペナルティは返却当日を入れて 8 日となります。

その 他：貸出図書は、借りた図書館以外の図書館でも返却できます。（付属資料のあるものを除く）

登録者には、返却期限が近づくと電子メールで通知をするメールサービスを行っています。図書館 Web ページで登録してください。

専攻等資料室に配置の資料は、その資料室で利用することができます。

筑波地区の各図書館と大塚図書館との間では、それぞれに配架されている図書を取り寄せる搬送サービスを行っています。蔵書検索（OPAC）から申し込んでください。

(4) 各種サービス

各館では、図書館利用法の案内・指導、書誌事項の調査、資料の所蔵調査等のレファレンスサービス、学外機関からの資料取り寄せ等のサービスを行っています。さらに資料をより効果的に利用できるようにするため、学術論文情報データベースの使い方を中心とした、「論文の探し方」等各種の講習会やご希望に応じた講習会を開催しています。これらの申込みは Web ページでも受け付けています。

また、中央図書館では、視覚障害等により朗読の補助を必要とする場合、ボランティアによる対面朗読サービスが利用できます。

各館には、複写設備、全学計算機システム端末、個人で利用できる研究個室、グループで利用できるセミナー室、視聴覚資料を利用するための設備などがあります。

(5) TULIPS（筑波大学電子図書館）(URL <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>)

附属図書館の Web サイトでは、蔵書検索(OPAC)や電子ジャーナル、データベースを始めとする様々な学術情報資源や、ワンクリックで全文情報や関連する情報資源へアクセス(SFX)し、文献情報を個人ごとに管理できるサービス(RefWorks)を提供しています。このほか、図書館で所蔵する貴重書や、本学の学位論文、紀要や研究

成果報告書の全文を電子図書館（つくばリポジトリ）で公開しています。是非ご利用ください。

(6) 電子図書館（つくばリポジトリ）への博士学位論文（全文）の登録

本学では博士学位論文（全文）を電子図書館（つくばリポジトリ）を通じて、インターネットで公開しています。「学位論文の電子図書館システム登録書」をお送りいただければ、図書館で電子化し公開いたします。登録申請はいつでも受け付けていますので、是非ご登録ください。

問い合わせ先：リポジトリ担当（TEL 029-853-2470、E-mail:voice@tulips.tsukuba.ac.jp）

（URL <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/tr/>）

1.6 就職について

本学では、就職全般を担当する専門部署として「キャリア支援室」及び「就職課」（スチューデントプラザ2階）が設けられています。そこには、「就職資料コーナー」が設置されており、就職関係書籍、求人検索用PC等が設置されています。また、毎年、就職活動の進め方をまとめた「就職の手引」を作成しており、就職課、各支援室で入手できます。

企業・団体への就職を目指す学生には、各方面から専門の講師を招いての「総括、各業界別就職ガイダンス」、「エントリーシート・面接対策」を9月から翌年3月にかけて実施しています。また、12月から1月にかけては、OB・OG懇談会を学内において開催し、企業研究のための実質的な就職情報も提供しています。

教員、公務員を目指す学生には、それぞれ「就職ガイダンス」、「模擬試験」を実施しています。また、公務員試験対策講座も開設しています。

また、平成21年度からは、「外国人留学生のためのキャリア・就職支援講座」を開設し、外国人留学生が日本で就職するための支援講座を行っています。

なお、ガイダンス等の開催及びその他の就職関係の情報は「筑波大学就職情報提供システム」

（URL <http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp>）をご利用ください。

1.7 学内交通について

【交通のルール】

本学の筑波キャンパスは、北、中、南、西、東及び春日地区の6つの地区からなり広大な敷地を有しており、本学構成員（学生・教職員等）の車両を始め、路線バスや外来車両等の通行が多い等、特殊な交通環境が作り出されています。

そこで本学では、学内道路における自動車等の速度制限や、必要な標識を設置する等、学生・教職員等の安全を確保するとともに良好な教育・研究環境の保持に努めています。

また、キャンパス内の駐車スペースには限りがありますので、原則として、所属研究科を担当する支援室から半径2km未満の地区及び学生宿舎地区を「自動車通学禁止区域」とし、この区域からの自動車での入構を禁止しています。

《学生の皆さんは次の事項を守ってください。》

1 上記「自動車通学禁止区域」外の者で、自動車通学によらざるを得ない者は、各支援室窓口にある「駐車証交付申請書」に自動車検査証（車検証）、自家用自動車保険（任意保険）証、及び居住を証明する書類の写等を添付のうえ、対応支援室窓口へ提出し、「駐車証」の交付を受け、所定の駐車場に駐車すること。また、構内の移動には自動車を絶対に使用しないこと。

なお、この「駐車証」の交付を受けていない者は、自動車での入構はできません。

2 学生宿舎居住学生で、学生宿舎区域への自動車の持ち込みを希望する者は、各学生宿舎管理事務所窓口にある「駐車証交付申請書」に必要事項を記入のうえ、居住している学生宿舎管理事務所へ提出し、「駐車証」の交付を受け、所定の学生宿舎区域駐車場に駐車すること。また、構内の移動には自動車を絶対に使用しないこと。

3 自転車でベダストリアンを走行する場合は、歩行者に十分注意すること。

4 自転車・オートバイは所定の置場に整頓して置くこと。また、盗難防止のため必ず鍵をかけること。

- 5 ペDESTロリアンは、オートバイでの通行はできません。
- 6 ヘルメットやシートベルトを必ず着用するとともに、学内の交通標識に注意し、速度制限、駐車禁止などの指示を守ること。
- 7 障害者用の駐車エリアには絶対駐車しないこと。(空いているから、ちょっとだけという気持ちが迷惑になります)
- 8 点字ブロックやその周辺には絶対に駐輪しないこと。目の不自由な人の通行の妨げになります。

中央図書館南側道路の自動車での通り抜け自粛について

中央図書館南側道路については、近くにスチューデントプラザが開設されているため、歩行者及び自転車の往来が大変多く、**本道路上やループ道路への出口付近での、歩行者及び自転車と自動車との接触事故の危険性が指摘**されています。

歩行者・自転車の安全確保及び本道路周辺施設における静穏な教育研究環境の確保のため、**中央図書館南側道路の自動車での通り抜けを自粛し、ループ道路を迂回**して下さるようお願いいたします。

【キャンパス交通システムについて】

筑波大学では、学生、職員等のキャンパスにおける移動や通学・通勤等の便宜を図るためにキャンパス交通システムを導入しています。

このシステムは、つくばエクスプレス線つくば駅前のつくばセンターとキャンパスの間を1日約140往復運行されている関東鉄道の路線バスに、年間4,200円(学生)の利用料で乗車できるもので、この区間内の停留所(路線図参照)であれば何度でも自由に乗降できます。

なお、このシステムの利用を希望する場合は、利用証(イ-ジ 図参照)が必要となりますので、学生証を持参のうえ、学内に6箇所ある書籍部(丸善)のいずれかの店舗で購入手続きをし、学生証への貼付を受けてください。

参考：通常、つくばセンターから筑波大学中央まで路線バスを利用した場合の料金は、1回260円です。

期限切れに注意

キャンパス交通システム利用証は、毎年3月31日で使用期限が切れます。新年度の利用は更新手続きが必要となります。故意でなくても、期限切れの使用は不正行為となり違約金を支払わなければなりませんので、十分注意してください。

違約金の算定： 違約金 = 260円(片道最高額) × 2(往復) × 2(率) × 日数(4月1日から積算した日数)

本件に関する問い合わせ先；総務部総務課(029-853-2025)

【イメージ図】

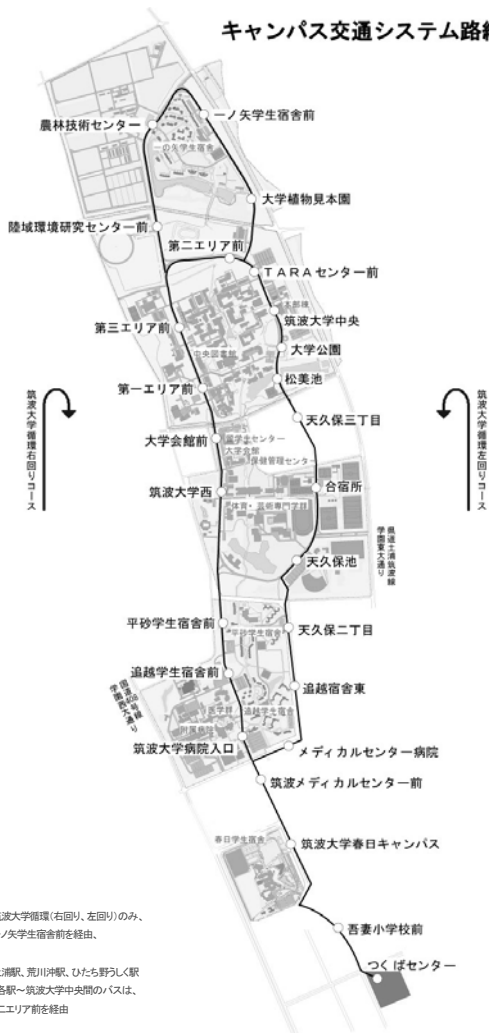
 筑波大学 University of Tsukuba	関東鉄道自動車企業定期券 23年4月1日から 24年3月31日まで	学生証 Student's Card
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 写真 </div>	学籍番号 入学年度 平成 年度 所 属 氏 名 生年月日 昭和(平成) 年 月 日 上記の者は、本学の学生であることを証明する。	
発行日 平成 年 月 日 有効期限 裏面に記載		
茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学長 印		

利用証(12mm × 22mm)

平成23年度有効期限

交付日～平成24年3月31日

キャンパス交通システム路線図



※ 筑波大学循環(右回り、左回り)のみ、
一ノ矢学生舎前を経由、

※ 土浦駅、荒川沖駅、ひたち野上駅
の各駅～筑波大学中央間のバスは、
第二エリア前を経由

筑波大学循環(右回り)運行時刻表(平日)

停留所	時刻											
	つくばセンター	筑波大学春日キャンパス	筑波大学病院入口	大学会館前	第一エリア前	第三エリア前	農林技術センター前	筑波大学中央	合宿所	筑波大学春日キャンパス	つくばセンター	
6	00	01	03	07	08	09	11	15	18	24	30	
7	40	41	43	47	48	49	51	55	58	04	10	
8	20	21	23	27	28	29	31	35	38	44	50	
21	50	51	53	57	58	59	01	05	08	14	20	
22	00	01	03	07	08	09	11	15	18	24	30	
	40	41	43	47	48	49	51	55	58	04	10	
この間つくばセンター発(20分間隔)												
21	00	01	03	07	08	09	11	15	18	24	30	
22	40	41	43	47	48	49	51	55	58	04	10	
	20	21	23	27	28	29	31	35	38	44	50	

筑波大学循環(左回り)運行時刻表(平日)

停留所	時刻											
	つくばセンター	筑波大学春日キャンパス	合宿所	筑波大学中央	農林技術センター前	第三エリア前	第一エリア前	大学会館前	筑波大学病院入口	筑波大学春日キャンパス	つくばセンター	
6	20	21	27	30	34	36	37	38	42	44	50	
7	00	01	07	10	14	16	17	18	22	24	30	
8	40	41	47	50	54	56	57	58	02	04	10	
21	10	11	17	20	24	26	27	28	32	34	40	
22	30	31	37	40	44	46	47	48	52	54	00	
	50	51	57	00	04	06	07	08	12	14	20	
この間つくばセンター発(20分間隔)												
21	20	21	27	30	34	36	37	38	42	44	50	
22	00	01	07	10	14	16	17	18	22	24	30	
	40	41	47	50	54	56	57	58	02	04	10	

●普通旅客運賃表

つくばセンター～筑波大学中央～つくばセンター

	つくばセンター	筑波大学春日キャンパス	追越宿舎東	合宿所	筑波大学中央	一ノ矢学生舎前	第一エリア前	第二エリア前	第三エリア前	第一エリア前	筑波大学西	追越学生舎前	筑波大学春日キャンパス	つくばセンター
つくばセンター	160	160	190	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
筑波大学春日キャンパス	160	160	190	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
追越学生舎前	160	190	160	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
筑波大学西	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
第一エリア前	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
第二エリア前	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
第一エリア前	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
一ノ矢学生舎前	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
筑波大学中央	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
合宿所	160	190	200	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
追越宿舎東	160	190	160	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
筑波大学春日キャンパス	160	160	190	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160
つくばセンター	160	160	190	260	260	260	260	260	260	260	260	260	160	160

※ 筑波大学循環(右回り、左回り)は第二エリア前を経由しません →

1 8 毒物・劇物等の取扱いについて

良好な教育・研究環境保持のため、学生の毒物・劇物等の使用にあたっては、指導教員等から取扱方法等についての指示を守ったうえ、適正な使用に努めてください。

1 9 総合相談窓口について

本学では、全学的な何でも相談窓口として、総合相談窓口を設置しています。この窓口は、学生のみなさんに、ちょっと困ったことがあったとき、気軽に相談に立ち寄ってもらえるための場所です。

総合相談窓口では、カウンセラーが相談を担当します。相談内容は、学生生活に関することなどどんなことでもOKです。ご相談いただいた内容によっては、どこでどのような支援を受けられるかも一緒に探して、ご紹介しますので気軽にいらしてください。

【 開設日時 】

原則、月、火、木、金曜日の 13:30～17:15 に開設しています。なお、長期休暇期間等においては、変更する場合があります。

2カ月分の開設予定日時をホームページで確認することができます。

【 場所 】

スチューデントプラザ学生生活支援室内（1D北棟3階）

【 相談方法 】

- ・予約制ではありませんので、直接スチューデントプラザの3階へお越しください。
- ・電話でのご相談も承ります。
- ・1回の相談はおおよそ30分程度を目安にしております。
- ・保護者や教職員のご相談も受付けています。

【 連絡先 】

総合相談窓口 電話 029-853-8430

URL <http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/studentplaza.html>

2 0 大学からの緊急連絡について

自然災害や事件事故等の緊急事態が発生した場合（例えば、台風による休講など）、大学からの緊急連絡は、各学生に付与されるメールアドレスに配信されます。このメールアドレスに届くメールは常にチェックするか、日常使用しているメールアドレスに転送設定してください。

全学計算機システムのメールアドレス：s1234567@u.tsukuba.ac.jp（アカウントはs+学籍番号下7桁）

メールの転送設定については、全学計算機システム HP (<http://www.u.tsukuba.ac.jp/>) 「利用全般」「利用システム」をご覧ください。（メールアドレスについての問合せ先：学術情報メディアセンター）

2 1 ハラスメントに関する苦情について

本学では、ハラスメントに関する苦情相談を受け付けております。ハラスメントに関する問題で困っている方は、相談員にお気軽にご相談ください。

（対象者）

教職員、学生等本学関係者であれば誰でも相談できます。

（相談員）

当該年度の相談員の氏名・所属・職名・連絡方法及び連絡時間帯はstudents、大学ホームページの学内専用でお知らせいたします。

大学ホームページ「教育・学生生活」 「学生生活に関すること」うち「ハラスメント関連」

URL <https://ks.sec.tsukuba.ac.jp/safety.html> (学内専用)

(相談方法)

相談員と直接相談できるほか、電話、e-mail、Fax 及び手紙でも相談を受け付けますので、お気軽にご相談ください。

直接の相談に当たっては、相談員と連絡をとり、日時や場所の希望を申し出てください。

相談者のプライバシーは必ず守ります。

相談したことで、相談者が不利益を被ることはありません。

一人で悩んでいないで、誰かに早めに相談しましょう。